

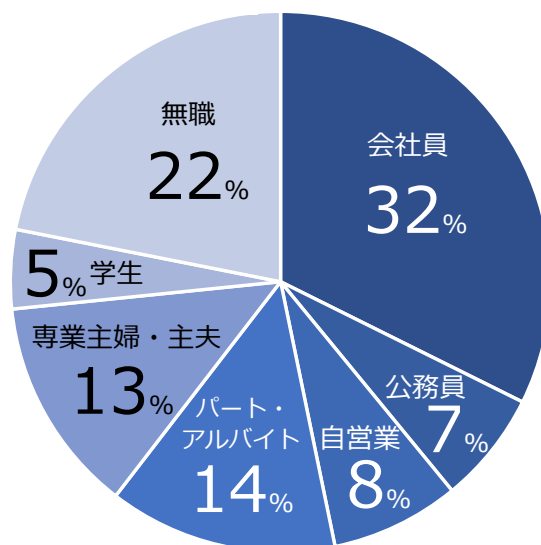
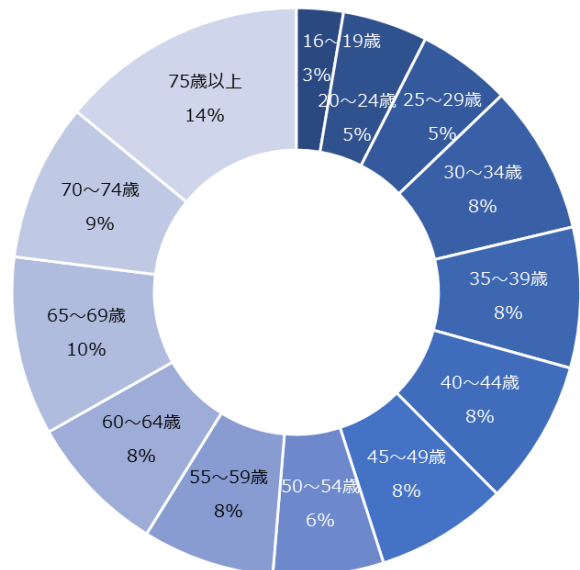
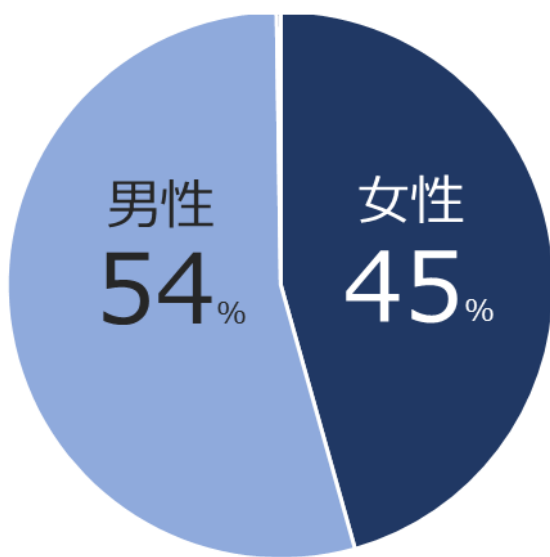
水口地域の中心市街地における意識調査（単純集計）

1. 概要

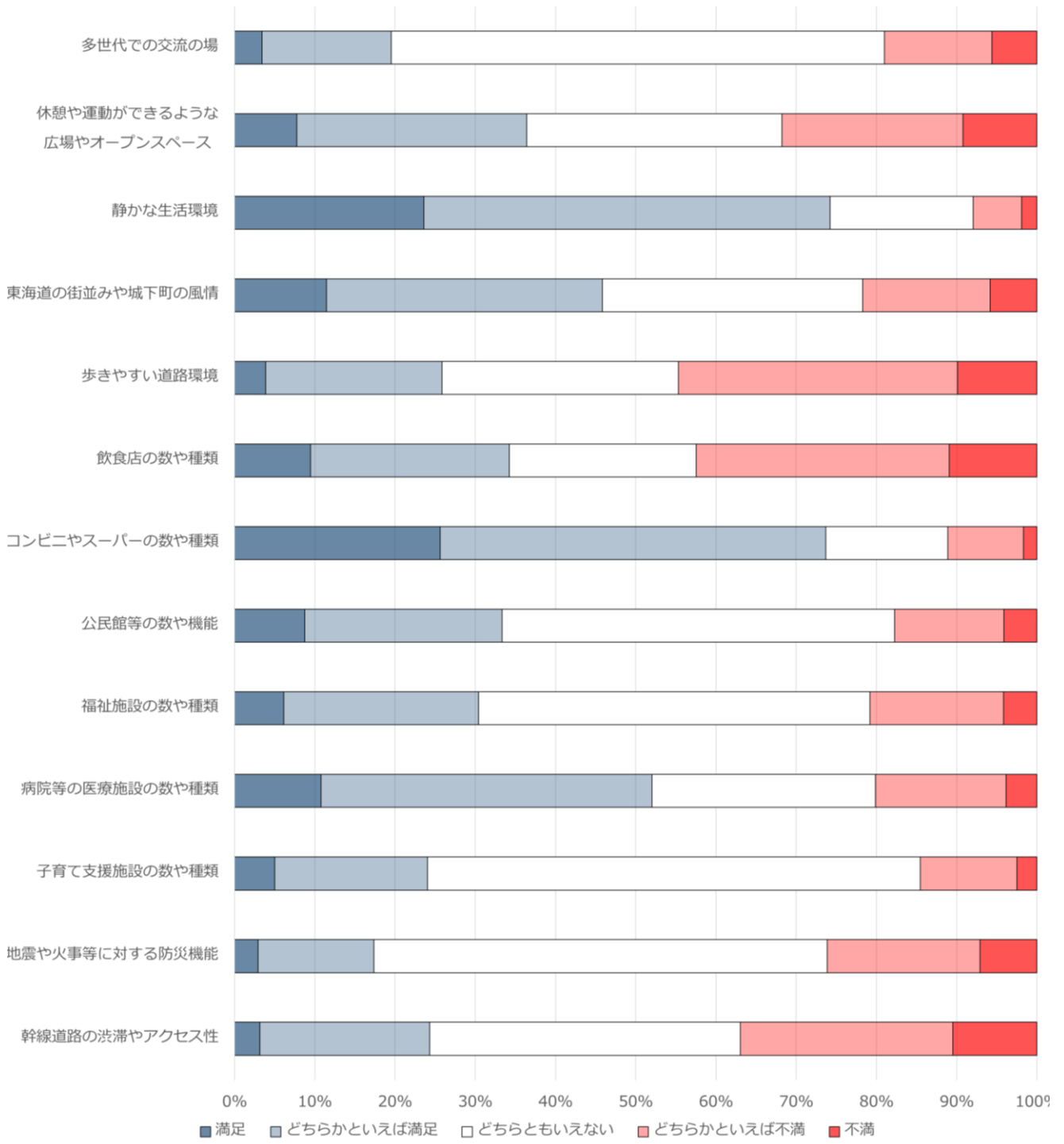
- 調査時期 令和3年3月
- 調査対象 水口地域の市街地にお住いの16歳以上の男女
- 調査標本数 1,085人
- 回収件数 419人（回収率 38.6%）

2. 回答者属性

年代	母集団	母集団 構成比	抽出数	回収数	回収 構成比
20歳代以下	837	15.1%	229	53	12.7%
30歳代	846	15.3%	198	68	16.2%
40歳代	918	16.6%	213	65	15.5%
50歳代	699	12.6%	149	57	13.6%
60歳代	725	13.1%	115	75	17.9%
70歳以上	1,506	27.2%	181	95	22.7%
不明	-	-	-	6	1.4%
合計	5,531		1,085	419	

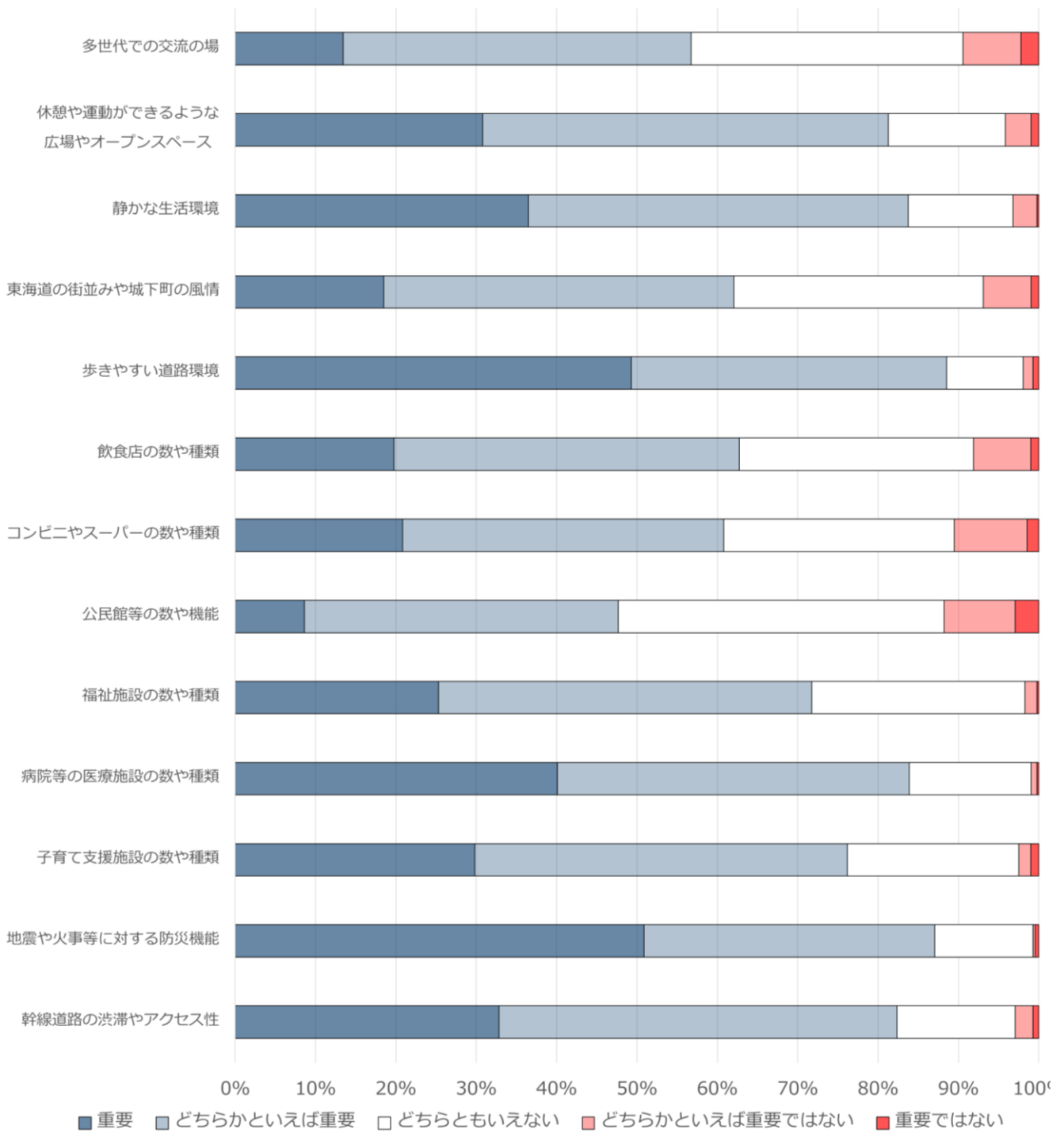


〈問4〉 お住いの地域で暮らすことの「満足度」についておたずねします。



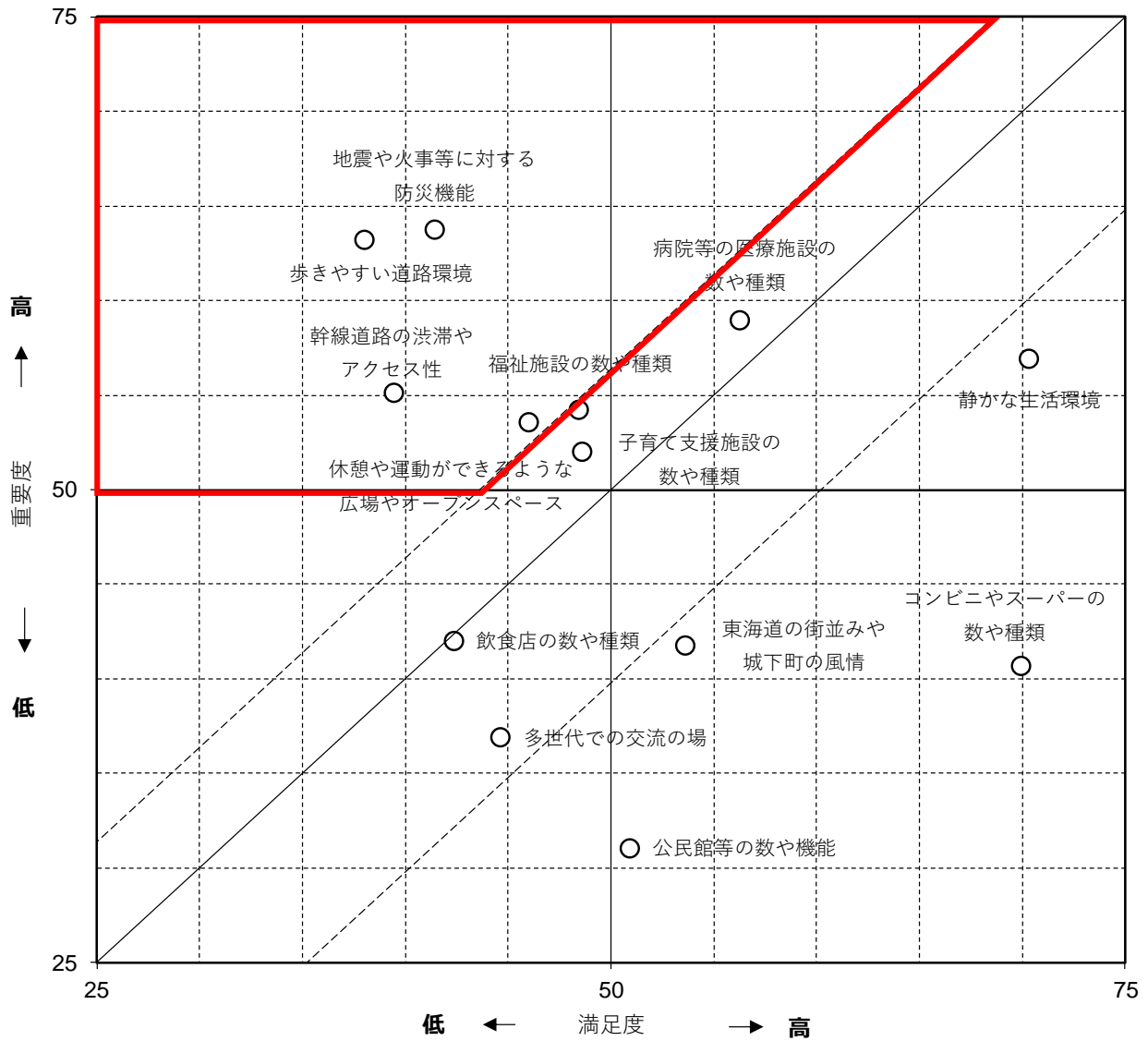
- 「満足度」が高いのは
- 静かな生活環境
  - コンビニやスーパーの数や種類
  - 病院等の医療施設の数や種類
- 「満足度」が低いのは
- 歩きやすい道路環境
  - 飲食店の数や種類
  - 幹線道路の渋滞やアクセス性

〈問8〉 お住いの地域における、これからのまちづくりの「重要度」についておたずねします。



- 「重要度」が高いのは
  - 歩きやすい道路環境
  - 静かな生活環境
  - 地震や火事等に対する防災機能
- 「重要度」が低いのは
  - 公民館等の数や機能
  - コンビニやスーパーの数や種類
  - 多世代での交流の場

## 重要度と満足度の分析



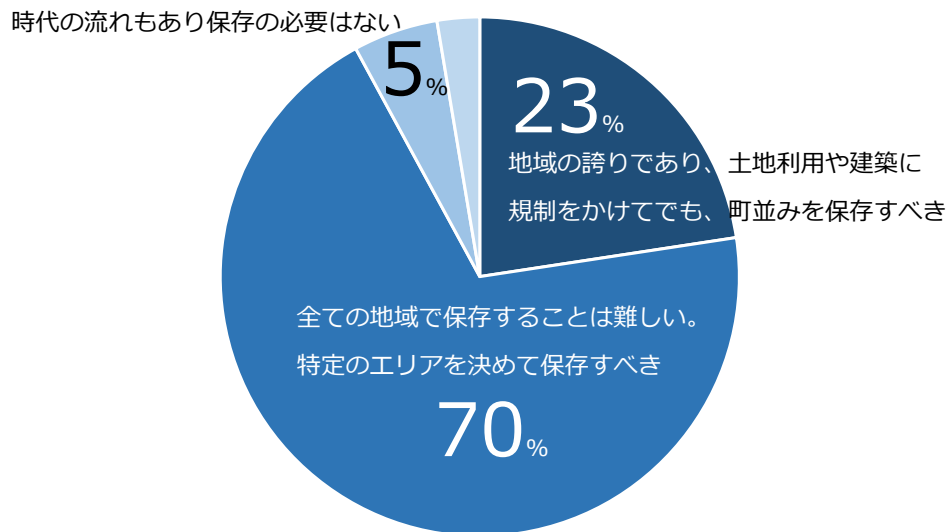
○ 「重要度」が高く、「満足度」が低いのは

- 地震や火事等に対する防災機能
- 歩きやすい道路環境
- 幹線道路の渋滞やアクセス性
- 休憩や運動ができる広場やオープンスペース

○ 「重要度」が低く、「満足度」が高いのは

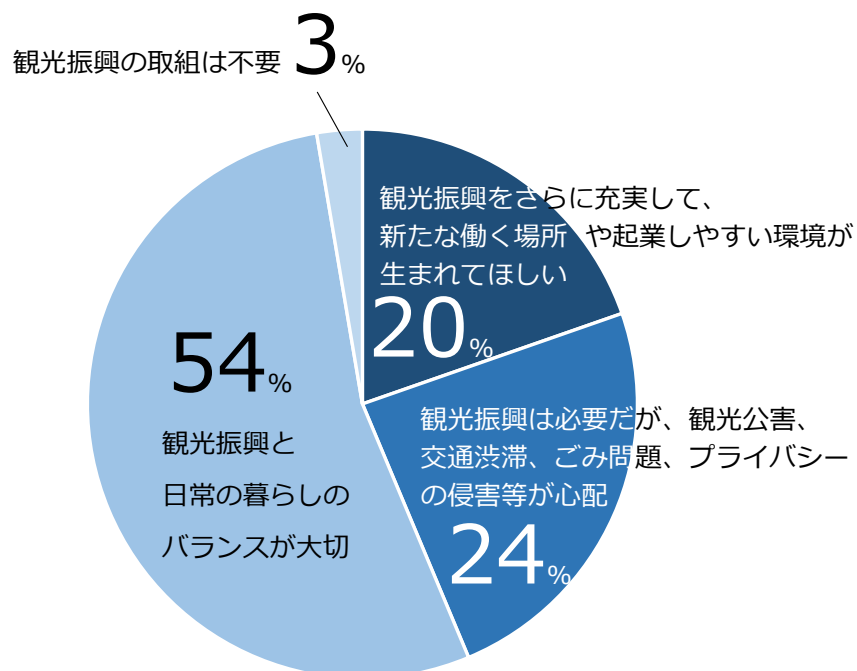
- コンビニやスーパーの数や種類
- 公民館等の数や機能
- 東海道の街並みや城下町の風情

〈問5〉 東海道や城下町の町並みの保存について、どのようにお考えですか。



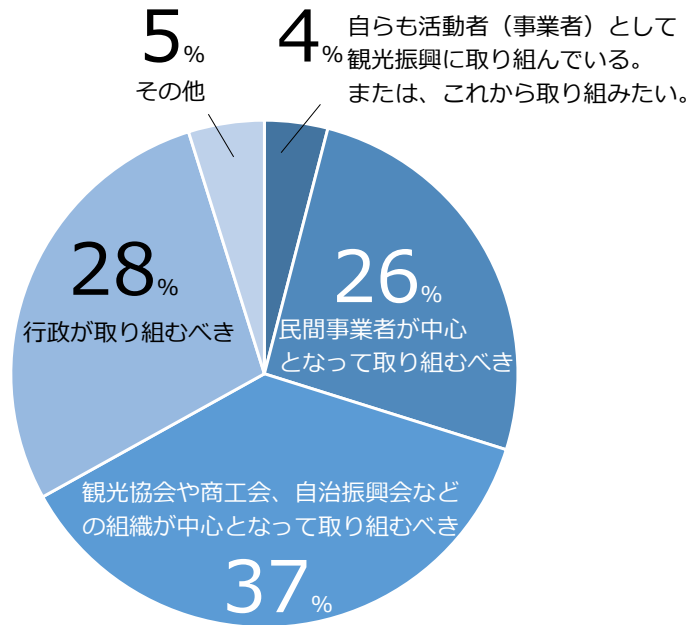
- 「特定のエリアを決めて保存すべき」との意見が多い。
- 土地利用や建築規制への意欲も一部ある。（年代クロス集計が必要）

〈問6〉 東海道や城下町の町並みを活用した観光振興についてどのようにお考えですか。



- 「観光振興と日常の暮らしのバランスが大切」と考える人が多い。
- 「観光振興の取組は不要」との意見は、ほぼない。
- 「観光振興を推進」する意見と「観光振興による公害」を心配する声が拮抗

〈付問1〉問6で「1」と回答した方に、観光産業の活動者（事業者）についてお伺いします。



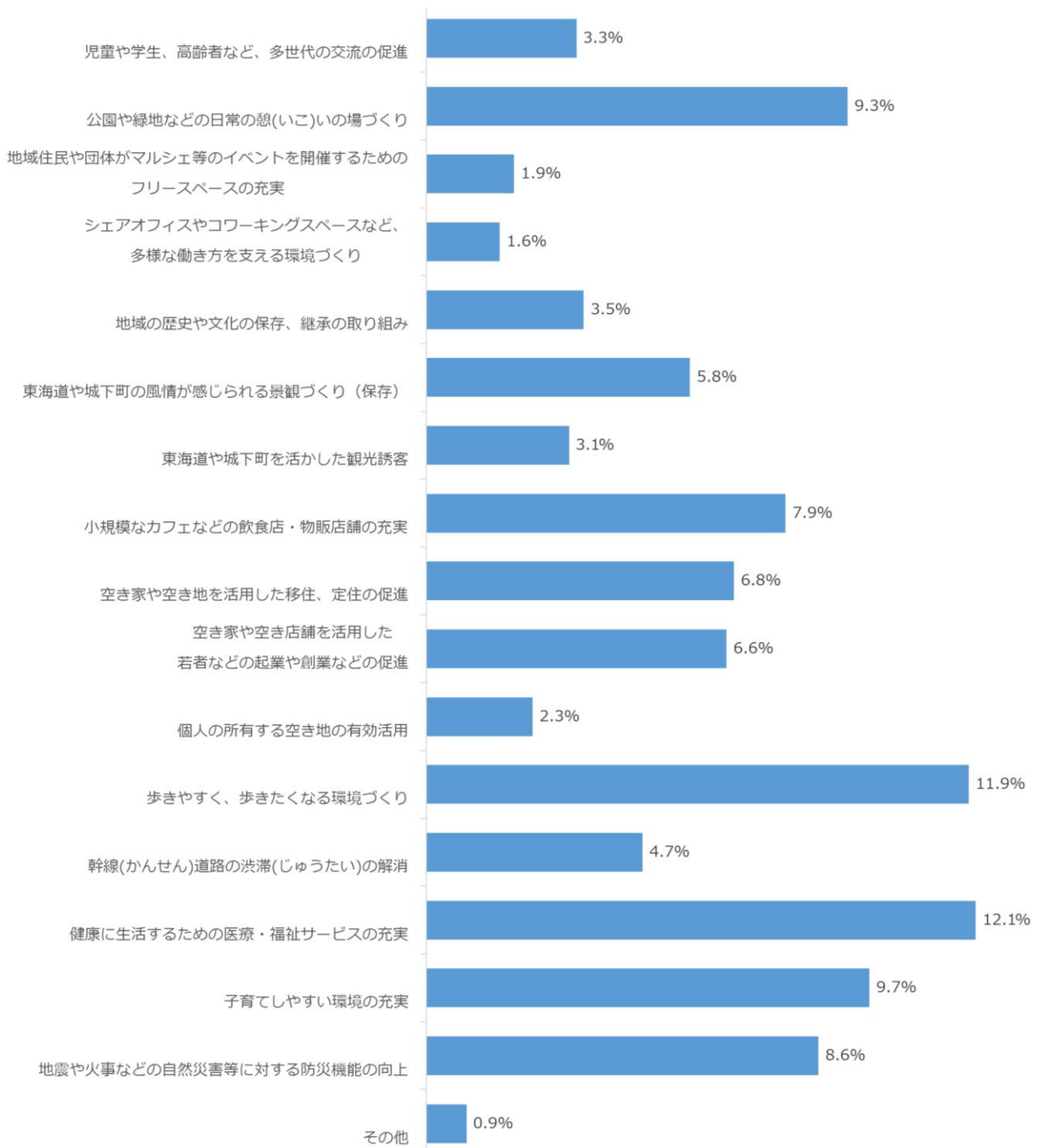
- 「観光振興」は必要だが、自らが取り組む意欲はない。
- 観光協会や商工会、自治振興会など、誰かに取り組んでほしい。

〈問7〉水口地域の中心市街地のまちづくりを進めるにあたり、「暮らしやすさ」と「にぎわい」のどちらが大切だとお考えですか。



- 7割が日常の「暮らしやすさ」を重視したまちづくりを望んでいる。

〈問9〉水口地域の中心市街地において、「暮らしやすさ」や「にぎわい」を充実させるために必要な取り組みを3つ選んでください。



- 1位「健康に生活するための医療、福祉サービスの充実」  
 2位「歩きやすく、歩きたくなる環境づくり」  
 3位「子育てしやすい環境の充実」

**〈問10〉今後の暮らしやまちづくりについて、ご意見等などがあればご自由にお書きください。（特徴的なものを抜粋）**

**（1）道路、歩道**

- ア. 城南道路の整備が必要。バスの乗降などによる渋滞もある。
- イ. 一方通行や狭い道路が多く、散歩できる環境ではない。
- ウ. 旧東海道は歩行者優先にするなど、自動車と関わりなどを見直す時期である。
- エ. 歩行者のために電柱の地中化を希望。
- オ. 道路が狭小。家屋が建っており道路拡幅が難しいのはわかるが、長期的な取組が必要ではないか。
- カ. 路上駐車が多い。

**（2）景観**

- ア. 彦根城キャッスルロードのような飲食店や雑貨屋がならなる町並みを希望。
- イ. 古い町並みを利便性のために破壊してきた町に魅力はない。
- ウ. 東海道の町並みはほとんどなくなった。東海道を歩く方には申し訳なく思う。
- エ. 水口の中心部に個人所有物が置かれ、東海道、城下町の景観にそぐわない。
- オ. 商店街の景観を整理してほしいが、個人の財産であるため難しいと思う。
- カ. 景観、田園風景がこれ以上悪化することなく、現状の古き歴史物を大切にすればよい。
- キ. 景観を復元するのは不可能。住宅街として、安全安心で平穏な暮らしができることを重視してほしい。
- ク. これまでの街道筋の風情ある建物は解体が進んでおり、町並みを再度作りあげるのは不可能。今ある歴史遺産や書物を大切にし、郷土愛の醸成を図るべき。
- ケ. 東海道水口宿で自慢できるものがない。

**（3）公園、フリースペース、駐車場**

- ア. 東部エリアに歩行者が利用する簡単な休憩所が必要。
- イ. 藤栄神社などを休憩できる場所として整備してほしい。
- ウ. 水口城址を京都御所のような公園にできないか。
- エ. 鹿深夢の森のような公園と図書館、自由な広いスペースが必要。
- オ. 東海道沿線に大型バスなどが入れる駐車場が必要。
- カ. 水口城の堀の浄化をすべき（八幡堀を参考に）。
- キ. 水口城周辺の環境整備（除草など）と活用を進めてほしい
- ク. 子どもたちの遊ぶ場所が必要（3×3バスケット、クライミング、芝生ミニサッカー）
- ケ. 城山を公園として市民みんなが楽しめるようにしてほしい。
- コ. 身近な近所の公園（柏木公園）などの管理に期待。

**（4）観光**

- ア. 観光案内看板が少ない。
- イ. 水口中心市街地の役割は「観光」ではない。「観光」は甲南、土山を中心にすべき。
- ウ. 甲賀忍者を活かした観光振興がよいのではないか。
- エ. 今の住環境でよい。これ以上にぎやかになってほしくない。寂れてほしくもない。

- オ. 観光と暮らしのバランスが大切。大津、京都、大阪のベッドタウンとして、暮らしやすい街となってほしい。
- カ. 曳山を地域住民だけで維持するのは難しい。公募で手伝ってもらってはどうか。
- キ. 観光振興は今更という印象。関宿には遠く及ばない。行政も個人の財産を言い訳にして、残そうとする意欲がなかった。
- ク. 水口城跡の風情が好きです。春の桜も楽しみで。これからも残したい。

## (5) 行政施策

- ア. 高齢者を手厚くケアすることも大切だが、子育て世代を大切にしてほしい。
- イ. 長期的視野に立ち、金をかけず、SDGs に合致した取り組みをすべき。
- ウ. 生活支援などにより移住者を呼び込む取組が必要。
- エ. 外国人のための日本語教室の充実が必要。
- オ. 外国語教室やインターナショナルスクールを誘致してほしい。
- カ. 学区の変更、見直しも必要。
- キ. 官民協働を進める前に、行政としての「まちづくりの方向性」を示してほしい。
- ク. 元気な高齢者を増やすため、高齢者の筋トレ教室
- ケ. リモートワーク、テレワーク等の環境づくり、就農、店舗探しなどの起業者支援が必要。
- コ. ゴミの戸別収集を希望
- サ. 行政は大きなことではなく、現実的で身近な課題に目を向けるべき。まずは行動。

## (6) 公共施設

- ア. 水口中心部は商業、学校、公共施設を充実して、「住みやすさ」を重視したまちづくりを進めてほしい。
- イ. 箱物は建物ではなく、中身が重要。今ある施設をよりよく活用したほうがよい。
- ウ. 保健センター、子育て支援センターの一体的整備を希望。駅、バス停の近くがよい。
- カ. 旧水口西保育園の施設の維持管理を適正にしてほしい。
- キ. 水口中央公民館は老朽化が著しい。建て替えを希望。
- ク. 空き公共施設の有効活用のため、人（団体）と人（団体）をつなげるコーディネーターが必要。
- ケ. 新水口体育館での利用制限を解除願いたい（フットサル）
- コ. 公共施設（市民センター）においてキッチンカーを呼び込むなど、公共施設、公園の規制緩和を進めるべき。
- サ. 水口図書館の蔵書を充実させてほしい。
- シ. 公民館、体育館、まる一むなどの収益性と公益性のバランスが必要。使っていない人も含めた利用の公平性（料金負担）が保たれていない。
- ス. フリースクールなど小学校に通うのが困難な児童の選択肢を増やす取組が必要。

## (7) 区・自治会、町

- ア. 自治会（町、組の世話役）などが次々と回ってきて多忙。簡略化すべき。
- イ. 町内会は不要。令和の時代にマッチしていない。

- ウ. 組回覧などの簡素化も必要。
- エ. 多世代交流が難しくなっている。もっと若者が気軽に参加できる行事が必要。
- オ. 社寺関係の経費が重なって大変。本来任意であるはずの宗教が強制的になっている。文化財として残すのなら、行政が経費負担してほしい。
- カ. 伝統にこだわるあまり、移住者を受け入れる空気感がない。
- キ. 自治会の必要性を丁寧に伝えるための資料などが必要ではないか。
- ク. 街中の自治会等の組織は疲弊している。地域自治組織のあり方を若者、女性を交えて議論すべきではないか。
- ケ. 「新しい取組を応援できない」地域住民ならではの空気感がある。

#### **(8) 空き家、空き地**

- ア. 空き家活用のマッチングをすべき。
- イ. 空き家を若者たちへ安価に譲渡する仕組みづくり

#### **(9) 市民活動**

- ア. ボランティアへの参加意欲はあるが、どのように参加すればよいのか。公募してほしい。

#### **(10) 民間事業**

- ア. 水口地域は飲食店もカフェも増え、若者は暮らしやすい。
- イ. 地元野菜のレストランをもっと増やして、発信してほしい。
- ウ. チェーン店ではなく、個人のこだわりの店などを出店しやすい支援をすべき。
- エ. 日用品の購入は困らないが、素敵なケーキ屋や雑貨店、カフェなど、プラスアルファの「生活を豊かにする」小売店が必要。
- オ. 公的機関は発想が乏しい。全国からアーティストを招聘するなど、若者を招いてまちづくりを進めてほしい。(現代アート展の公募、企画提案の募集)